

第95期 中間報告書

平成27年4月1日から平成27年9月30日まで

目次

株主の皆様へ	1
「TRY1」3事業分野の取り組み	3
事業トピックス	6
財務ハイライト(連結)	7
連結財務諸表	9
各事業の概況(連結)	10
地域貢献型事業	13
会社情報、株価/出来高、株式の状況	14



取締役社長 加留部 淳

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第95期上半期（平成27年4月1日から平成27年9月30日まで）の事業内容をご報告するにあたりまして、ご挨拶申し上げます。

当上半期の世界経済を概観しますと、米国経済は雇用改善が継続し消費は着実な拡大を見せました。欧州経済は回復基調が見られるものの、中国経済の変調とともに資源国や新興国の減速が鮮明となりました。

米国の利上げ観測が新興国からの資金流出をもたらし、景気鈍化の原因となっています。

こうした中、わが国経済は個人消費の伸び悩みと輸出回復に緩慢さが見られ、景気は踊り場の状態で推移しました。

このような環境のもと、豊田通商グループの当上半期

の売上高は4兆2,840億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は237億円と前上半期対比、減収減益となりました。

また、当上半期の実績及び今後の見通しを勘案し、平成27年4月28日公表の通期連結業績予想を修正いたしました。

今回の業績予想の修正は、特殊要因によるところが大きく、通常の事業については堅調に推移しております。

配当金につきましては当初の公表通り据え置き、中間配当金は前期と比較して1株当たり3円増配の31円とし、支払開始日を11月26日とさせていただきます。

当社を取り巻く経営環境は、新興国経済の成長鈍化などにより厳しいものとなり、依然、先行き不透明な部分が残っております。

このような環境ではありますが、当社は持続的な成長を継続すべく、「GLOBAL 2020 VISION」実現に向け、引き続き収益基盤強化を図ってまいります。

各分野においての新たな取り組みを以下ご紹介いたします。

モビリティ分野においては、アセアン地域における自動車関連事業の強化の一環として、マレーシアにて、日立化成グループが生産する自動車用バッテリーの独占販売契約を締結しました。

北中米地域においては、メキシコにて、自動車用鋼管加工会社を設立しました。既存の物流網・拠点ネットワークを通じたバリューチェーン拡充により、自動車関連事業の収益基盤の更なる強化を目指し、お客様のニーズに合った適切な提案・対応を行ってまいります。

ライフ&コミュニティ分野においては、穀物生産の拡大が見込まれるブラジルにて、川上での安定調達・価格競争力を獲得するため、穀物インフラ事業を展開するノバアグリ社 (NovaAgri Infra-Estrutura de Armazenagem e Escoamento Agrícola S.A.) の株式を100%取得しました。

また、当社の重点地域であるアフリカで、関係会社のCFAO社 (CFAO S.A.) はカルフル社 (Carrefour S.A.) と連携し、コートジボワールにて小売店舗第一号店を年内にオープンする予定です。

アース&リソース分野においては、森林資源の有効活用による森林環境の改善、再生可能エネルギーの普及促進を目指し、島根県にて、木質バイオマス発電所 (1万kW) の営業運転を開始し、愛媛県でも参画準備を進めております。

また、青森県六ヶ所村で、国内最大規模の太陽光発電事業であるユーラス六ヶ所ソーラーパーク(11万5,000kW)が完成し、営業運転を開始しました。

このように新規投資を進める一方で既存の事業投資

については、改めて現状を精査し、必要な対策を速やかに講じることで、各案件の早期収益化・完遂を目指してまいります。

当社は、多様な人材が活躍できる環境づくりのため、グローバルダイバーシティ (多様性) & インクルージョン (受容) (D&I) を推進しております。

当期においては、社員ひとりひとりの多様な働き方を尊重し、より高い生産性を実現することを目指し、在宅勤務制度などのトライアルを実施してまいります。

また、本年6月に制定されたコーポレートガバナンス・コードの精神を受け、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に寄与できるような企業統治の仕組みの見直しを行い、株主の皆様にご貢献できるよう、努力を続けてまいります。

株主の皆様には今後とも、ご理解とご支援を賜わりますようお願い申し上げます。

敬 具
平成27年11月

GLOBAL 2020 VISION 2020年までに3つの事業分野で事業ポートフォリオ「1:1:1」を実現

モビリティ「次代の自動車の進化」に貢献する事業分野

「モビリティ」分野では、車と「人・社会」の接点における自動車ビジネスの変化とそこから生まれるチャンスを先取りし、事業の成長と次代のモビリティへの貢献を目指す。

ライフ&コミュニティ「生活環境の向上」に貢献する事業分野

「ライフ&コミュニティ」分野では、豊かな社会づくりに貢献する価値創造企業として、「人・社会」により役に立つ多彩な価値を提供する事業の創造と拡大を目指す。

アース&リソース「地球課題の解決」に貢献する事業分野

「アース&リソース」分野では、食料・資源・自然環境などにかかわる「地球課題」と向き合い、豊田通商グループならではの取り組み方で新たな価値を創造し、事業の更なる成長・拡大を目指す。



※「TRY1」の取り組みについてはP3~5をご覧ください。